

高原 幸雄市議 042-577-3375
尾張 美也子市議 042-574-4356
住友 たまみ市議 042-505-9030



高原幸雄市議



尾張美也子市議



住友たまみ市議



2016年8月28日(日)号
No.1544 明るい国立社
電話 042-576-0655
メール jpckunitachi@gmail.com
市議団ホームページ
http://www.jpckunitachi.net/
日本共産党の活動を紹介します。
バックナンバーはHPからご覧になれます。



8月20日(土)の午後10時より、国立市体育館の会議室で「国立にゆたかな緑と文化をつくる会」主催で、国立市政を語る集いが開催されました。川口会長挨拶のあと、日本共産党市議団が市政報告を行いました。住友議員が家庭ごみ有料化について、尾張議員が保育園民営化について、高

原議員が財政改革審議会についての報告、新日本婦人の会や市民団体からの報告の後、参加者との意見交換が行われました。また、国立図書館の蔵書を20万冊も処分した問題についても意見が出され、尾張議員が館長からの聞き取りを報告しました。開場からは、家庭ごみ

「家庭ごみの有料化・保育園民営化を 決まっていらないのに」すすめる佐藤市政 緑と文化をつくる会が市政語る会を開く

有料化や保育園民営化は、議会で議決されていないにも関わらず、まるで決まったような市報を出す佐藤市政の暴走を何とかして止めよう、市民の暮らしと命を守る市政に転換しようなどの声が出されました。

一般会計や国民健康保険特別会計などの補正予算も提案されています。市民の皆さんからは、市内に特別養護老人ホーム入所待機者が300名生まれている中で、市内に特養ホームの増設を求める陳情など5件が提出されています。議会日程は前回号でお知らせの通りです。裏面に共産党議員の一般質問通告内容と日程が掲載されています。



8月21日(日)の午後1時半より、国立福祉会館大ホールにおいて、全日本年金者組合国立支部の大25回定期大会が開催されました。支部長の前田武彦氏の挨拶のあと、議案書の討議と新役員の承認が行われました。年金など社会保障の充実、平和憲法を守る運動をサークル活動などを通して楽しく運動を広げようという方針が

採択されました。これまでの最高の60名以上の組合員の参加で、盛り上がりました。立川労連や年金者組合本部、昭島支部、国分寺支部からのあいさつもありました。日本共産党市議団の高原幸雄、尾張美也子、住友たまみ各議員が参加し挨拶しました。懇親会には社民党の藤田議員も参加しました。

第3回定期例会が8月29日から開かれます。今回の定期市議会には、市長提出議案として、国立駅南口自転車駐車場の新たな建設に伴う集中管理機器の購入経費5200万円の契約、自転車駐輪ラック購入費用6600万円などの契約案件2件、また、谷保地域の地番整備にかかわり、地域集会所の番地や図書館分室の番地の変更など、また、市内ごみ集積所に出された資源物を無断で収集す

「憲法守れ、年金削減許さない」 年金者組合全国国立支部定期 大会盛況に開催

特養ホームの増設を求める陳情などを審議 日本共産党市民要求実現で一般質問

ることを禁止する条例の制定、まちづくり条例制定に伴って、公共施設整備基金条例の一部改正や都市景観形成条例の一部改正も提案されています。都市計画形成条例の一部改正は、これまで大規模な開発を行ない祭に、都市計画形成条例に基づいて、都市景観審議会が建物の高さなどを審議して条例に適合しているかどうかを判断し、市長に答申し、良好なまちづくりをすすめるためにも大きな役割を担ってき

8月29日から始まる9月議会での日本共産党議員の一般質問の予定日と通告内容は以下の通りです。

9月1日(木) 住友 珠美議員 13時15分～14時15分

質問件名	要 旨
1、ゴミ問題について	(1) 可燃ゴミ、容器包装プラスチックゴミの減量対策はどうアプローチして (2) ゴミ減量先進市に学んで国立市に活かすための施策を問う
2、教育について	(1) 学童保育所の現状と課題について (2) 児童の安心安全を守る学童保育所施設の整備について (3) 文教都市として、国立市独自の奨学金制度を作るべきと考えるがどうか
3、認知症の施策について	(1) 認知症の日(第5回)にむけた、市の取り組みについて (2) 認知症の予防に対して市の取り組みと今後の施策を問う (3) 地域の中で認知症に対する理解を深めてもらうための取り組みについて

9月5日(月) 尾張 美也子議員 10時～11時

質問件名	要 旨
1. 誰もが安心して年を重ねていける施策の充実について	(1) 老老介護や独居高齢者の増加に伴う介護の課題と施策について (2) 認知症になっても地域で支えられる仕組みづくりについて (3) 他市と比べて65歳未満の死亡率が高い国立市の状況からもがん検診の受診率を上げる施策を工夫すべきだがどうか。
2. 市民の声を生かした柔軟な施策の工夫について	(1) ごみ減量は、市民負担増の家庭ごみ有料化より、紙ごみ分別、生ごみ削減を市民との協働で行う環境施策として進めるべきだがどうか。 (2) 反対の声がある都市計画道路3・4・10号線の延伸部分は、人優先の道路空間としての工夫をしてはどうか。 (3) 東地域を走るくっこミニの路線の谷保駅経由について
3. 子どもの成長発達を保障するための保育園施策について	(1) 市長は、保護者や保育士、関係者、市民の意見もしっかりと聞き、公立保育園の価値を再認識するとともに、子どもの最善の利益の観点からも、財政面からの拙速な公立保育園民営化は再考し、見直すべきではないか。 (2) 今緊急に行うべきは、公立保育園の充実と新たな保育園の誘致などの待機児解消のための施策の充実ではないか。

9月5日(月) 高原幸雄議員 13時15分～14時15分

1、国立駅周辺等のまちづくりについて	(1)9階建てマンション建設計画はどのように変更されたのか。抜本的な見直しが必要ではないのか。 (2) 旧国立駅舎復原後の活用は、市民の声を十分に生かして行うべきと考えるが、市の考えと今後のスケジュールは。 (3)国立駅東地域の自転車駐車場の確保について、市はどのように進めているのか。 (4)大学通りの自転車レーンの安全対策を早急に進めるべきではないかと思うが、進まないのはどういう問題があるのか。
2、市民の暮らしと中小企業者の経営を守る商工振興策について	(1)中央線高架下の商業施設nonowa国立の出店によって、市内の商店に影響が出ていると聞くが、その実態と対策はどう考えているのか。
3、給食センターの建てかえ問題について	(1)平成28年第2回定例会で報告された内容では建てかえ場所が限定されると思うが、どう考えているのか。 (2)災害時の対応で避難所運営にも大きな役割があると考えれば各校方式での建て替えが大きな選択基準となると考えられるが、十分な議論はされているのか。